

2020年度 第38回通常総代会に関する公示

下記の通り、第38回通常総代会を開催いたします。
日時：2020年6月20日(土)午後1時30分～ アルカスホール

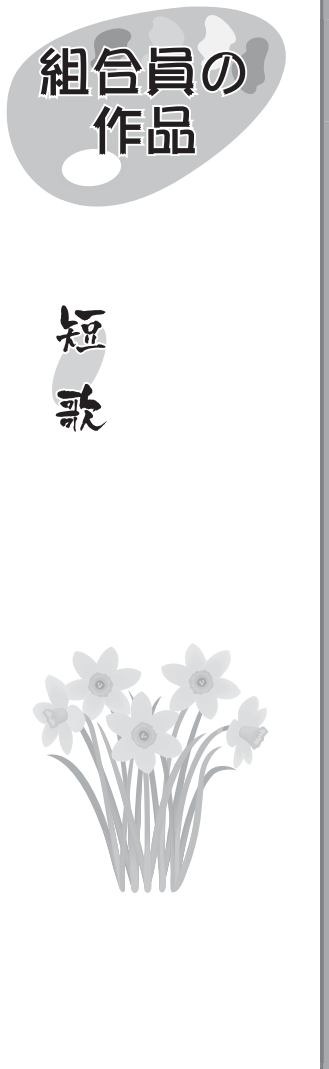
けいはん医療生活協同組合 理事長 戸田 伸夫

2020年度 第38回通常総代会・総代選出について

定款第45条及び総代選挙管理規約第6条により、2020年度総代選出について公示します。

- ◆総代立候補受付 3月9日(月)午前9時～4月13日(月)午後5時
- ◆総代選挙日 4月27日(月)午前10時
- ◆届出場所 各支部、各事業所
- ◆選挙の場所 本部多目的室
- ◆選挙区定数(定数200人)
 - ・みい支部(10人) ・みい東支部(6人) ・みい西支部(14人)
 - ・成田支部(9人) ・成田西支部(7人) ・あいあい支部(10人)
 - ・ともろぎ支部(9人) ・ゆうゆう支部(9人) ・たんぼぼ支部(11人)
 - ・ひまわり支部(10人) ・なでしこ支部(10人) ・門真東支部(11人)
 - ・門真南支部(10人) ・門真中央支部(12人) ・門真西支部(10人)
 - ・守口東支部(10人) ・守口北支部(11人) ・守口さつき南支部(9人)
 - ・守口さつき西支部(9人) ・職員(13人)

2020年度通常総代会 総代選挙管理委員会 委員長 中西 多恵子



学び終え社会へ船出の孫囲み傘寿の妻にもお屠蘇酌する
門真中央支部 兵頭 克己

おとろえの目立つ往年の歌手もいてちよっぴり侘し「年忘れにつぼんの歌」
ゆうゆう支部 長 勝昭

鶴彬の句碑を訪ねて亡き友の揮毫の文字を指になぞりぬ
守口さつき西支部 中山 惟行

この国は上から腐り壊れゆくそう思うのだがあなたはどうか
あいあい支部 長野 晃

2020年度支部総会日程 (予定)

支部	日時	場所	組合員数	成立定数	支部	日時	場所	組合員数	成立定数
みい支部	3月29日(日)10時～	みいデイケア室	610	31	なでしこ支部	3月28日(土)14時～	本部・多目的室	587	29
みい東支部	3月22日(日)10時～	ふれあいの家	354	18	門真東支部	3月28日(土)10時～	まちデイしろがき	633	32
みい西支部	3月8日(日)10時～	みいデイケア室	831	42	門真南支部	3月28日(土)10時～	南部市民センター	574	29
成田支部	4月7日(火)13時30分～	いこいの家なりた	512	26	門真中央支部	3月28日(土)	本部・多目的室	705	35
成田西支部	3月28日(土)10時～	ふれあいの家	403	20	門真西支部			609	30
あいあい支部	3月29日(日)14時～	寝屋川市民会館	569	28	守口北支部			650	33
ともろぎ支部	3月28日(土)11時～	ふれあいハウスみつばち	551	28	守口東支部	4月4日(土)10時～	本部・多目的室	611	31
ゆうゆう支部	3月22日(日)		561	28	守口さつき南支部			560	28
たんぼぼ支部	4月5日(日)11時～	エスポアール	657	33	守口さつき西支部	4月11日(土)11時～	いきいき広場	533	27
ひまわり支部	3月21日(土)	まちづくりセンター	562	28					

創立30周年を迎えるにあたって

《第1回》北河内地域での医療生協設立にむけて

はじめに

1991年9月創立総会、同11月けいはん医療生活協同組合(以下医療生協)の認可を受け、早いもので30周年を迎えようとしています。

発足当時と比べ、医療生協の役割・認知度は格段に上がる一方、社会保障をとりまく環境や事業規模・分野など様変わりしています。創立時のメンバーから第二世代に移行する今日、あらためてみなさんと30年のあゆみを振り返り、次の30年を切り拓く一助になればと願っています。

なぜ、医療生協設立をめざしたのか

1986年頃から、故藤原政雄初代理事長と、枚方・交野市を含む北河内5市の保健師さんや各地域の民主団体のみならず、北河内地域(大東・四条畷市除く)で、民主医療機関連合会(以下民医連)の診療所、その組織形態として医療生協の設立をめざし「懇談会」を開催していきま

小松病院、故小松先生と堀内前理事長のご尽力

「懇談会」では、医療生協の学びに始まり、診療所はどの地域が、医療の内容や医師・看護師さん、資金などごつするの、本当に出来るの、など多様な意見や問題も出され、お互い理解を深めながらできたらしいねと、夢を語りあいました。

当時、私は小松病院で勤務をしていましたが、大阪の病院や診療所規模法人の三つの取り組み①多くの法人が地域で1万人を超える組合員を擁し②その組合員が自らの健康を守るため「班会」を数多く開催③そして、「法人ニュース」を組合員が組合員に配布し地域で平和や社会保障の充実をめざし活動している。何故、そのような事ができるのか? そうした組合活動と運動に驚きと関心を持ち、この北河内地域にもそのような組織、その核となる診療所を設立したいという願いを強く抱きました。

しかし、実際に診療所をつくるには「★人(医師・看護師など)★もの(土地・建物・医療機器)★資金」が必要であり、「無い・無い尽くし」で具体的な展望は描けてはいませんでした。

そうした時、1989年夏、当時小松理事長と堀内常務理事から、「小寺君、谷先生と医療生協の診療所をつくらないか、場所はオークヒルズマンション前のテナントの2階なんだよ」と声をかけていただき、谷先生は以前小松病院に勤務され、面識もあり二つ返事で同年末小松病院を退職し、1990年1月から診療所開設と医療生協設立にむけた準備活動に。そして同年3月故山口伸一郎氏を委員長に「(仮)北河内医療生活協同組合準備会」を立ち上げ、同7月1日医療生協設立を前提とした「夕二診療所」がスタートしました。

特別顧問 小寺 正